

## 株式会社北欧トーキョー

## WebQuery / WebCargoによる受発注システムの刷新

## Webフォルダで帳票を共有し、受発注処理の効率化とセキュリティ強化を短期間で実現

株式会社北欧トーキョーでは、POSを利用した受発注システムへの刷新を機に、WebQuery/WebCargoを採用。その汎用性を生かして、仕入先への受発注だけでなく売上管理から生産管理まで幅広く利用し、本社や店舗、工場間のデータを一元化することで業務効率の向上を目指している。

## 企業プロフィール

## 株式会社北欧トーキョー

設立: 1988年12月  
 本社: 神奈川県座間市ひばりが丘4-26-1  
 資本金: 8,000万円  
 従業員数: 正社員72名  
 パート・アルバイト1,200名  
 事業概要: パン、和洋菓子の製造販売業  
 URL: <http://www.hokuo-tokyo.jp/>



株式会社  
 北欧トーキョー  
 管理・製造本部  
 総務部長  
 北村 薫氏

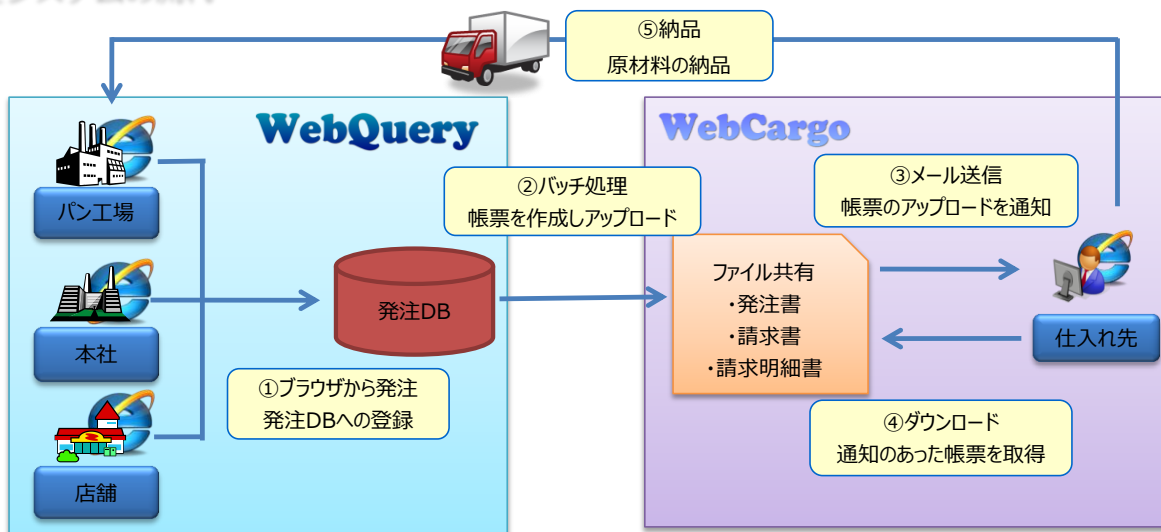
株式会社北欧トーキョー（以下、北欧トーキョー）は、小田急グループの一員として、東京・神奈川・埼玉にベーカリーチェーンHOKUOを展開している企業。お店で扱うパンは、すべて自社工場で、心をこめて手作りのものであり、ほとんどの作業は「職人技」とも言うべき熟練のパン職人の手作業によって行われている。おいしさを一番に考え、時間や手間をかけ手作りにこだわり続けることを特徴としている。今や北欧トーキョーが製造するパンは、約100種類以上ものバリエーションとなっている。「安全・安心・健康・美味」というキーワードをもとに、厳選した素材を使ったパンが好評を博し、関東圏で40を超える店舗を展開している。北欧トーキョーでは、素材を厳選するため50を超える仕入先へ毎日FAXを使い受発注を行っていた。しかしFAXを使った受発注では、担当者以外の閲覧や誤発信・紛失などのセキュリティ面での問題が大きくなっていった。また売上のデータを拠点で個別に管理していたため正確なデータ分析が行えなかった。

こういった弊害を解決するため、POSを含む受発注システムの刷新を計画した。複数のSIerに相談した結果、POSシステムと連携するだけでなく、売上管理や生産管理、仕入先とのEDIの構成といった幅広い部分を担うことができる株式会社システムコンサルタント（以下、システムコンサルタント）のWebQuery/WebCargoを選定した。

## Web化・セキュリティ・コストすべてのニーズに応えたWebQuery/WebCargo

北欧トーキョーでは、新しく受発注システムを刷新するに当たっていくつかのポイントを設定していた。そのひとつにシステムのWeb化が挙げられていた。WebCargoはその名の通り、Webブラウザで帳票（発注書・請求書）の共有、ダウンロードの管理を行うことができるツールである。仕入先、営業所、海外拠点、グループ会社など地理的に離れた環境においてもWebブラウザさえあればアクセスできるので、URLをユーザーに公開することで簡単に利用することが可能だ。

## ■受発注システムの流れ



## 導入背景

- FAXを利用した受発注システムの限界
- 将来の拡張性、運用コスト削減、タイムリーなデータ分析の必要性
- 受発注の効率化とデータアクセス高速化

## 導入ポイント

- 短期間でWebシステムの構築が実現可能
- 拠点間でのデータ統合の容易さ
- 開発だけでなく運用・保守の低コスト化

## 導入効果

- Web化による業務の効率化
- 受発注業務におけるセキュリティの向上
- 決算処理の効率化と正確な売上分析を実現

しかしWebブラウザから簡単に接続できてしまうということはセキュリティ面の強化が必須となる。そこで同社はデータベースサーバとWebCargoの間に入ってユーザーの管理やデータへのアクセスの制御を管理できるFreeWayを利用することに決めた。FreeWayはいつ、誰が、どのデータを取得したのかといった詳細なログまで出力することもでき高いセキュリティを実現した。

またコスト面から見ても、パッケージソフトとして販売されているので、一から開発を行うよりも開発コストや導入期間が大幅に削減できるといったメリットもある。加えてシステムコンサルタントでは製品価格の10%という良心的な年間保守料で提供しているためランニングコストの削減も見込める。

この様に高いセキュリティを保ちつつ、低コストかつ迅速にWebシステム化できるといったメリットが製品の採用に繋がった。

#### WebCargo で予想外のコスト削減と迅速な会計処理の実現

北歐トキョーでは社外の仕入先との受発注を円滑に行うため、WebCargoを利用したEDIの構築を行った。新たなシステムでは、発注データベースからバッチ処理で自動で帳票が作られた際、すぐに仕入先に帳票が出来上がったことを知らせるメールを送るようになっていた。あとは仕入先の業者が発注書をダウンロードしてそれに合わせて納品を行うだけである。受発注処理のWebシステム化によって、取引先の運用コストを削減することができた。またこのシステムを会計システムと連動させ、発注時に即決算を行えるようにして、作業負担を軽減した迅速な会計処理を実現するなど予想外のメリットも生まれる結果となったのである。

#### 様々なシステムに対応することで更なる業務の効率化を図るWebQuery

本社や工場などの拠点間で行われる管理システムの統合では、Webブラウザからデータ検索・分析を行うことができるWebQueryが採用されている。WebQueryの特徴の一つに高い汎用性が挙げられる。実際に北歐トキョーでは様々なシステムにWebQueryが利用されている。

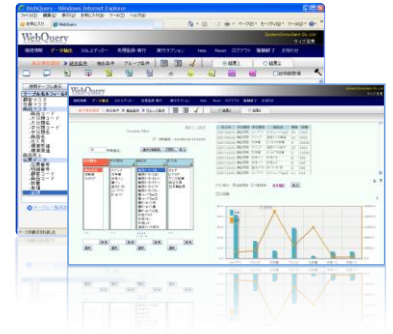
まず一つ目に売上管理システムである。以前のシステムでは、各店舗で売上データを手入力していたため、データの誤入力や手間がエンドユーザーを苦しめていた。新たなシステムではPOSシステムとWebQueryを連携させたことで、売上データは即入力され、データの参照もすぐに行えるようになった。また手動による誤入力がなくなったためデータの正確性が向上するといったメリットも生まれた。売上管理システムの他にも店舗側から工場に対するオーダーを発行する際にサポートする店舗オーダー管理システムや、工場の生産管理システムなどにも使われている。店舗オーダーシステムでは、過去のオーダー履歴や天候、地域イベントを参照できるので状況に合わせたタイムリーかつ柔軟なオーダーが実行できるようになった。また生産管理システムと連携することで本社でオーダーを取りまとめせずに直接工場で管理することができるようになった。そのため本社の作業量の軽減、生産関連の帳票作成までの所要時間が大幅に短縮されるといった利点が生じた。このように本社、店舗、工場の複数拠点をまたいだ包括的なデータの統合が進んだことで、ユーザーや市場に柔軟に対応できる効率的なシステムを構築した。

今後同社では、システムコンサルタント製品の汎用性を生かして、在庫管理などのシステムにも利用し、さらなる業務の効率化に役立てていきたいと担当者は語っている。

#### 導入製品

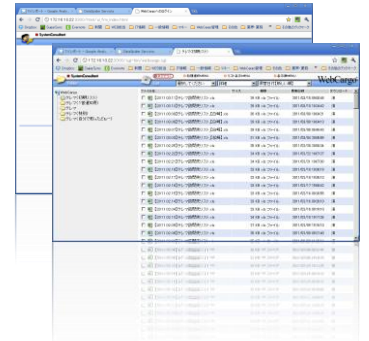
##### WebQuery

ブラウザなので、いつでも、どこでも、だれにでもリアルタイムに必要なデータを取り出すことができる。Excelを使ったデータ分析や様々な形式の帳票作成が可能



##### WebCargo

Web上での情報共有やデータ収集、交換を簡単に実現。さらに既存の業務アプリや後続アプリと連携し、Webシステムを簡単に構築可能。



#### システム概要

- パッケージ  
WebQuery  
WebCargo  
FreeWay
- DBサーバ  
Windows Server 2003  
(Oracle 10g)
- Webサーバ  
Windows Server 2003
- 利用ユーザー数: 約100名

#### Information

##### ●製品紹介サイト

WebCargo/WebQuery/FreeWayの特長、導入事例、稼働環境、及び価格などをご紹介  
<http://www.ksc.co.jp/spnet/>

##### ●新バージョン本格始動!

2011年出荷予定の新バージョンの内容をご紹介  
<http://www.ksc.co.jp/spnet/newversion/>

##### ●体験デモサイト

各製品の体験デモはこちら  
<http://www.ksc.co.jp/spnet/experience/>

##### ●ハンズオンセミナー

基礎、データ活用、オンサイトなど、ご要望に合ったセミナーのご案内  
<http://www.ksc.co.jp/spnet/seminar/>